

道総研

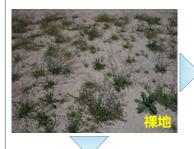
越冬緑肥を使った有機野菜栽培

概 要 Abstract

- ・ヘアリーベッチを越冬栽培することで雑草の発生を抑えます。
- ・後作緑肥に比べて、播種を1ヶ月ほど遅らせることができます。
- ・後作の有機野菜に対して窒素の減肥ができます。

成 果 Results









雑草発生量を 47~73%低減

ライ麦との混播により、一層低減!

②播種は遅くても大丈夫!









播種の晩限は9月上旬~10月上旬

③後作(有機野菜)への窒素減肥が可能!





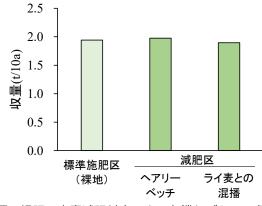


図 緑肥の窒素減肥対応による有機かぼちゃの収量性 (2018~2020年、5事例の平均)

1)窒素施肥量 (平均 kg/10a) 標準施肥区11.2、ヘアリーベッチ6.4 (減肥量4.8) 、ライ麦との混播9.5 (減肥量1.7)

すき込まれた緑肥に含まれる窒素分を見込んで 減肥しても、収量は確保できます!

普及 Dissemination

・有機栽培のみならず慣行栽培にも活用できます。

連絡先 Contact

中央農業試験場 農業環境部 生産技術グループ 0123-89-2001 central-agri@hro.or.jp